
君と僕と珈琲と

あの日、君と僕とで飲んだ珈琲。不思議と甘かった。
珈琲が苦手だった僕は、君のためにちょっとだけ背伸びしてみたんだ。

珈琲が飲めるようにちょっとだけ背伸びしてみる。
そんな少しの頑張りで今日も生きていけるなら。

クラウドファンディング公開中



barista.k.rock@gmail.com
